



- ① 種子島茶碗 小山富士夫作 個人蔵
- ② 書「休里」 小山富士夫筆 個人蔵
展示期間 8月29日～10月5日まで
- ③ 潞安茶碗 中国・現代 館蔵
- ④ 潞安茶碗箱書
- ⑤ 不盡盃 小山富士夫作 個人蔵
- ⑥ 宿帖 館蔵
- ⑦ 瀬戸黒茶碗 銘花ノ木 豊蔵作 館蔵
- ⑧ 志野菊絵茶碗 銘随縁 豊蔵作 館蔵
- ⑨ 古九谷風石庭図平鉢 豊蔵作 館蔵

陶芸家 荒川豊蔵の仕事場であった大萱陶房(現荒川豊蔵資料館)には、多くの著名人や友人が訪れています。中でも足しげく通った一人として小山富士夫が挙げられます。

小山は、昭和を代表する東洋陶磁研究者で、文化財関係の事業や調査に携わり、「六古窯」という言葉を生んだ人物です。また青年期に近衛歩兵第三連隊で知り合った岡部長世から聞いたやきものに興味を持ち、瀬戸や京都の真清水蔵六のもとで作陶の基礎を学びました。後年は作陶技術と研究者として培った知識を集結させ、心のおもむくままに制作し、小山独自のおおらかな作品を作り上げました。

豊蔵と小山の交遊は真清水蔵六宅の対面から始まり、ある時は陶芸家と陶磁研究者として、後年に陶芸家に転身した小山とは陶芸家として友情を深めました。大萱にある豊蔵邸来訪を記録した「宿帖」には、小山富士夫の手記が何度も登場します。初見は昭和17年、4度目の訪問であったことが書き添えられており、最終的には何度訪問したかわからなくなったほどです。

本展では小山の愛用品や地元に残る小山作品、筆まめで几帳面な一面を知る資料などを、また、小山と豊蔵との交流を示す作品や逸話の残る豊蔵作品を展示します。これらの作品などからは、気の置けない付き合いであったことを垣間見ることができます。

豊蔵没後40年、そして小山没後50年を迎える節目に、互いの感性や仕事振りに刺激を受けながら、共に高みを目指した、偉大な陶芸家の存在とその技量の素晴らしさを多くの方に知っていただく機会となれば、幸いです。

催し物のご案内

◇ギャラリートーク 学芸員が展示を解説します

9月7日(日)、10月5日(日)、11月3日(月・祝)、12月7日(日)
各日13時30分～(約30分程度)

◇関連講話 小山富士夫・その研究と作陶 参加費:無料

講師 榎本 徹氏(当館特別顧問)

令和7年10月18日(土) 13時30分～14時30分

定員 15名(応募多数の場合は抽選)

会場 荒川豊蔵資料館敷地内 居宅

申込締切 9月21日(日)

申込方法 氏名、住所、電話、人数を電話、メール、Faxいずれかでご連絡ください。

◆次回展のご案内

豊蔵没後40年記念展「豊蔵の画遊」(仮)

会期(予定) 令和7年12月19日(金)～令和8年4月中旬

MAP

【荒川豊蔵資料館へのアクセス】

■電車でお越しの場合

- JR名古屋駅→JR中央本線多治見駅→JR太田線「可児駅」下車→タクシー約15分
- 名鉄名古屋駅→名鉄大井町線「犬山駅」→名鉄広見線「新可児駅」下車→タクシー約15分

■バスをご利用の場合

毎日…電話で予約バス(デマンド運行)

大平公民館(運行時間30分前までに予約)

JR可児駅から「No.140 荒川豊蔵資料館」下車

※詳しくは可児市のHPをご覧ください。

■車でお越しの場合

- 東海環状自動車道「可児御嵩IC」から国道21号、県道381号を南へ。
- 県道84号線を土岐市方面へ約8km
- 東海環状自動車道「五斗崎スマートIC」から県道84号線を可児市方面へ約3km

○カーナビで検索される際は、電話番号(0574-64-1461)を入力してください

荒川豊蔵資料館



荒川豊蔵資料館 ARAKAWA TOYOZÔ MUSEUM
〒509-0234 岐阜県可児市久々利柿下入会(大萱)352番地 TEL・FAX: 0574-64-1461
URL: <https://www.city.kani.lg.jp/10013.htm> Instagram: @kani_city.kyodorekiskan